

□□□ 共に生きる さらなる多文化共生の地域づくりをめざして □□□

2015年9月26日

清瀬国際交流会 佐竹治男

★多文化共生って何？

「多文化共生」とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

(2006 総務省)

1：多文化共生の防災対策の側面

- ・情報がうまく伝わらないことによる混乱（言葉と文化の問題）
- ・自助、共助、公助 → 「災害弱者」と「地域のコミュニティー」

2：多文化共生は特別なことではなく、私たちの生きざま

- ・多文化共生とは、違いのある構成員が、お互いの違いを活かしながら、地域を支えていくこと。
- ・そのような関係は、相手が外国人とは限らない。夫婦の違い、親子の違い等、身近に存在する。

3：多文化共生によるまちづくり

- ・外国人とのかかわり：支援者・要支援者の関係から、まちづくりの仲間になる可能性
- ・若者・よそ者・バカ者によるまちづくり。外国人は未知の可能性を秘めている。

★プチ異文化体験（3枚のプリントを使用：練習の時に1枚ずつ配布）

- 1、知らない外国語のプリントを、予備知識なしで日本語に翻訳する。
- 2、少しだけ単語が分かる人の場合
- 3、翻訳されたプリント

★やさしい日本語入門（「やさしい日本語」の手引きより抜粋：下記参照）

- ・「やさしい日本語」とは（P2、P3）
- ・「やさしい日本語」を創る時の流れとポイント（P4）
- ・言い換え練習（プリントなし）
- ・文の言い換え（P9）

★「やさしい日本語入門」で、参考にした資料（インターネットからダウンロードできます。）

「やさしい日本語」の手引き ~外国人に伝わる日本語~ 2013年（平成25年）2月 発行

【発行】 愛知県地域振興部国際課多文化共生推進室

<http://www.pref.aichi.jp/kokusai/tabunka.html>

【企画・編集】 特定非営利活動法人 多文化共生リソースセンター東海

※この冊子は、財団法人自治体国際化協会の助成事業により作成されました。